

令和4年度経済産業省デジタルプラットフォーム構築事業
(統計の活用促進に繋がるコンテンツに関する調査事業)

調査報告書

令和4年9月30日

株式会社インテージリサーチ

目次

1. 本調査報告書の位置づけ.....	1
2. 現行システムに対する改善要望について.....	1
① グラレスタサイト内の利用者アンケート.....	1
② 経済産業省担当職員へのヒアリング.....	3
1) 運用面での改善用法.....	3
2) 操作性改善.....	4
③ WEB および Tableau の操作性に関するヒューリスティック調査.....	4
1) Web の UI について.....	4
2) Tableau の UI について.....	4
3. 改善の方向性.....	5
4. 改善方向性の具体案.....	5
① R2 グラレスタへのカテゴリ選択の追加.....	5
(1-1)ピクトグラム選択画面作成.....	5
(1-2)既存画面にフィルターを追加.....	6
② R3 グラレスタ用データ転記ツールの開発.....	6
(2-1)データ転記ツールの開発.....	6
(2-2)データ転記ツール出力データチェックツールの開発.....	7
③ Web 画面、Tableau 画面の UI 改善.....	7
(3-1)デフォルトのグラフ表示を行う.....	7
(3-2)キーワード検索を Web 側に移動.....	7
(3-3)棒グラフの年を四半期や月に切り替える機能の説明追加.....	7
(3-4)グラフの単位の表示位置を変更.....	8
(3-5)R2 グラレスタと R3 グラレスタを統合する.....	9
(3-6)都道府県別データを地図表示する.....	9
(3-7)棒グラフで複数の指標を同時に表示するように変更.....	9
(3-8)スマートフォンでの視認性を維持する.....	10
(3-9)パンくずリスト、お知らせの表示を変更.....	10
(3-10)ピクトグラム画面と調査票選択画面を追加.....	10
④ R2 グラレスタの検索用辞書データ作成手順の改善.....	11
(4-1) 経済産業省の公表済データから辞書データを半自動生成.....	11
⑤ その他.....	11
(5-1)統計データの拡充.....	11
(5-2)Tableau エラー時の処理の追加.....	11
(5-3)チャットボット.....	11

5. 具体案の採否.....	12
① 採用(R4年度実施)になった具体案.....	12
② 採用(R5年度以降に見送り)になった具体案.....	13
③ 不採用(対応済)になった具体案.....	13
④ 不採用になった具体案.....	13

1. 本調査報告書の位置づけ

令和4年7月14日に経済産業省様より公示された実施計画書（仕様書）「令和4年度経済産業省デジタルプラットフォーム構築事業（統計の活用促進に繋がるコンテンツに関する調査事業）」の事業目的に基づき、令和2年度および令和3年度に開発した統計グラフ化工具「グラレスタ」について、WEB サイトやダッシュボード、データ加工ツールに関する改善点の検討や、それを踏まえた改善案の検討を行いました。

2. 現行システムに対する改善要望について

「経済産業省生産動態統計」用ダッシュボード（以下、「R2 グラレスタ」という。）および「商業動態統計」・「特定サービス産業動態統計」用ダッシュボード（以下、「R3 グラレスタ」という。）の2つのダッシュボードに対する改善方針の検討に際し、以下の方法で集められた改善要望を集約整理しています。

- ①グラレスタサイト内の利用者アンケート
- ②経済産業省担当職員へのヒアリング
- ③WEB および Tableau の操作性に関するヒューリスティック調査

① グラレスタサイト内の利用者アンケート

グラレスタの利用者に対し、改善要望に関するアンケートを行い、その回答を分析しました。

表1は、Q5「グラレスタ」の改善に関するご要望という質問に対して回答を集計したものです。質問内容は以下になります。

Q.「グラレスタ」について今後どのような改善が必要ですか？

集計した結果、「統計データの追加」や「利便性の向上」に対する要望が多い結果となりました。

区分	要望内容	回答数
選択肢	統計データの追加（例：製造業の1600品目だけでなく、サービス業に関するデータも見られるようにしてほしい。サービス業の分野での新規事業を検討しているため。）	77
選択肢	利便性の向上（例：対前年比を簡易に表示できる機能を追加してほしい。チャットボット方式で簡単にグラフ化できる機能を追加してほしい。）	46
選択肢	キーワード検索の精度を改善してほしい	6

選択肢	掲載されていない他の統計調査のデータもグラフ化できるようにしてほしい	5
選択肢	具体的な活用方法を紹介した記事を掲載してほしい	3
選択肢	前年比や他の業種・品目との比較を簡単にできるようにしてほしい	2
選択肢	自社に関する統計データをお勧めとして表示してほしい	1
選択肢	より長期間の統計データを収録してほしい（10 年、20 年等）	1
その他自由回答	10 年間ではなく長い年数でデータが比較できるようにしてほしい	1
その他自由回答	グラフの画面が真っ白で利用できない	1
その他自由回答	グラレスタについて勉強中	1
その他自由回答	さらに細かい業種品目の区分が必要	1
その他自由回答	まだ活用していないのでわからないのですが、検索が分かりやすいと嬉しいです。	1
その他自由回答	元データの公開	1
その他自由回答	品目の検索	1
その他自由回答	品目の検索がわからない	1
その他自由回答	商業動態統計は地域別のデータを掲載してほしい	1
その他自由回答	始めたばかりで理解不十分	1
その他自由回答	業界主要ニュースの表示	1
その他自由回答	業種によって、わかりやすく書いてほしい。	1
その他自由回答	生産動態統計は、大企業性製品の生産なので、中小企業には意味がない。中小企業が強みを持つ、ニッチ製品を見るためにも、すべての財を対象にした統計調査でないという意味がない。工業統計の品目データを希望する。	1

表 1 Q5.「グラレスタ」の改善に関するご要望

アンケート回答期間：2021 年 4 月～2022 年 8 月

アンケート回答数：152 件

表 2 は、Q 6 ご要望の改善の内容や理由について自由回答結果を整理したのになります。
カッコ内は内容が同じまたは類似した回答数を示しています。

全体の傾向	内容
① 製造業以外のデータ希望	サービス業(9) 食品製造、農水畜産園芸(7) 商業動態統計調査や鉱工業生産指数など他データの追加(3) その他業界(グランピング、キャンピングカー、コインランドリー等) その他
② データの粒度	中間計が欲しい、末端品目だと細かい(3) 企業規模別のデータ(2) グラフの表示期間を増やす(2) 月単位でのデータ(2)
③ 導線・UI 系	検索してもヒットしない（分類に問題、辞書に課題）(5) 数字が表示されていない(3) 品目に対する説明(2) カテゴリ検索に気づかない(2) ダウンロード(2) 用語説明(1)
④ 利便性の向上	対前年比を簡易に表示できる機能を追加してほしい チャットボット方式で簡単にグラフ化できる機能を追加してほしい

表 2 Q 6. ご要望の改善の内容や理由（自由回答）

以上の表 1 および表 2 のアンケート集計結果から、製造業以外のデータをダッシュボードに搭載する、月別・四半期別などデータの集計期間変更方法の明確化、WEB サイトの導線・UI の改善、Tableau の UI 改善を改善案として検討します。

② 経済産業省担当職員へのヒアリング

経済産業省担当職員様からグラレスタに関する改善要望をお伺いしました。主に「運用面での改善要望」と「操作性の改善要望」についてご要望を頂きました。

1) 運用面での改善用法

データ転記ツールの作成

既存のデータ加工ツールに入力するための時系列データを複数の Excel ファイルから手作業で作成している。手作業による手間とミスを回避するために自動化したい。

検索用辞書改善(運用性)

R2 グラレスタでは調査票改正に伴う品目の内容が変わるたびに検索時に参照している辞書データを手作業で生成している。材料となるいくつかの項目からふりがなを含めて自動生成できるようにしたい。

チャットボット

問い合わせをチャットボットで速やかに解決できると良い。

2) 操作性改善

検索用辞書改善(利便性)

「検索でヒットしない」等の意見があり、辞書データの情報量が不足している。拡充により精度を上げたい。

不具合やメンテナンスの通知

Tableau が稼働する基盤システムに不具合が発生した場合の検知と対応に時間がかかる。エラーが起きた場合、利用者へ自動アナウンスできると良い。

③ WEB および Tableau の操作性に関するヒューリスティック調査

Web と Tableau の操作性に関するヒューリスティック調査を行い、操作性改善の具体的項目を整理しました。本調査により発案された改善項目は後述の検討事項に含まれているため後に示している項番号を付けています。

1) Web の UI について

パンくずリストの表示内容(項番 3-9)

グラレスタ TOP から R2 グラレスタ、もしくは R3 グラレスタ遷移した際に、パンくずリストから TOP へ戻ることができない。階層が異なるためパンくずリストから移動できると良い。現行のイメージは項番 3-9 参照。

ダッシュボードの表示位置について(項番 3-9)

R2 グラレスタ、R3 グラレスタのページを開くと「お知らせ」と「はじめてご利用になる方へ」が表示されるため、見たいダッシュボードを表示するためにスクロールをする必要がある。見たいダッシュボードはファーストビューにあると良い。

2) Tableau の UI について

棒グラフの年の階層切替ボタン(項番 3-3)

R2 グラレスタ、R3 グラレスタの両方にある棒グラフは年ごとの集計を行っており、図 1 中赤枠内の+ボタンで四半期や月へ切り替えることができるが、デフォルトでは表示されないため説明があると良い。

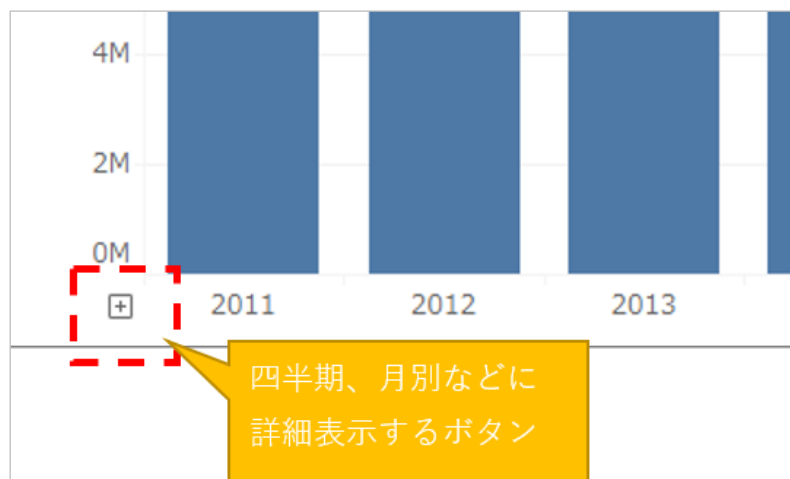


図 1 階層切替ボタンの表示

地図の表示(項番 3-6)

都道府県別のデータがあるのであれば、地図表示で地理的な情報を分かりやすくする。イメージは項番 3-6 を参照。

3. 改善の方向性

上記の改善要望を改善対象別に整理した結果、以下 5 つの方向性に沿って具体化します。

- (1) R2 グラレスタへのカテゴリ選択の追加
- (2) R3 グラレスタ用データ転記ツールの開発
- (3) WEB 画面、Tableau 画面の UI 改善
- (4) R2 グラレスタの検索用辞書データ作成手順の改善
- (5) その他

4. 改善方向性の具体案

改善方向性の具体案を以下に示します。

① R2 グラレスタへのカテゴリ選択の追加

R2 グラレスタに対するアンケートでは、中分類カテゴリなどがあると見やすいという意見がありました。現在の R3 グラレスタでは画面を分けてカテゴリを 3 段階で選択できる仕様です。これらから、R2 グラレスタへ大分類・中分類カテゴリを追加し、R3 グラレスタと導線の統一感があるようにすることで、利便性ならびに UI の改善が成され则认为しました。以下、カテゴリ選択の追加案について(1-1)と(1-2)にまとめました。

(1-1)ピクトグラム選択画面作成

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ

R3 グラレスタに実装されているピクトグラムと同様に R2 グラレスタでも同様の実装を行います。カテゴリとして経済産業省生産動態統計の 6 業種のカテゴリの選択肢を作成し、

2 番目の画面として調査票の選択を行うようにします。イメージは現行の R3 グラレスタを参照してください。

(1-2)既存画面にフィルターを追加

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ

現行では、品目、項目（単位）のフィルターがありますが、新たに業種、調査票のフィルターを追加します。これまでの導線を維持するために、この業種、調査票フィルターのデフォルトの選択を「すべて」にして、選択されなくても機能するようにします。R2 グラレスタにのみ実装している「積み上げのグラフ」は、元々調査票の選択があるため維持することとして業種のフィルターを追加します。図 2 にフィルターを追加した場合のイメージを示します。

①キーワード検索から探す
閲覧したい品目のキーワードを入力すると、
カテゴリ検索の品目が絞りこみされます。

②カテゴリ検索から探す
閲覧したい業種を選択してください

(すべて) ▼

閲覧したい調査票を選択してください

(すべて) ▼

閲覧したい品目を選択してください (必須)

品目を選択してください。 ▼

閲覧したい項目を選択してください (必須)

項目を選択してください。 ▼

図 2 カテゴリフィルター実装イメージ

② R3 グラレスタ用データ転記ツールの開発

R3 グラレスタではデータ加工ツールのインプットデータのフォーマットが統計表ごとに異なっているため、現在は手作業で使用するデータを切り出して 1 つのファルにフォーマットを揃えています。手作業は非効率かつミスが発生する可能性があるため、ツールを用いて自動化することで品質と生産性の向上を図ります。具体的には(2-1)と(2-2)の開発になります。

(2-1)データ転記ツールの開発

対象ダッシュボード：R3 グラレスタ

R3 グラレスタデータ更新の工程で利用するデータ加工ツール読込用のインプットデータ

を作成するツールを作成します。複数の統計表から、どの統計表のどの範囲をどこに転記するかを指定して一括で転記処理を行います。ツールは経済産業省担当職員が改修しやすいようにできるだけシンプルな構造にします。

(2-2) データ転記ツール出力データチェックツールの開発

対象ダッシュボード：R3 グラレスタ

データ転記ツールで作成したデータ加工ツール用インプットデータが正しく転記されているかを確認するツールを開発します。確認方法としては、前年に作成したデータと合致するかを見ていきます。エラーがあった場合は、エラーか所を示したファイルを出力し、データ転記ツールへ定義してある転記元・先の情報を手修正するための情報として活用します。（定義情報はツールによる自動修正は行いません）

③ Web 画面、Tableau 画面の UI 改善

主に視認性と操作について、改善点をまとめています。現行の見え方については現行の Web ページ (<https://mirasapo-plus.go.jp/hint/14583/>) を参照してください。改善案については、(3-1)から(3-10)としてまとめました。

(3-1) デフォルトのグラフ表示を行う

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ

利用者アンケートで「真っ白である」といった回答もある通り、初期画面でグラフが表示されていないことでエラーが起きていると誤解されてしまう可能性があります。そのため、初期状態で何らかの品目を選択した状態で、グラフを表示しておくようにすることで誤解を防ぎたいと考えます。

(3-2) キーワード検索を Web 側に移動

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ

R2 グラレスタのキーワード検索を Tableau の内側ではなく、R3 グラレスタのように外側の Web 側に配置します。R2 グラレスタと R3 グラレスタのキーワード検索の操作感の統一が期待できます。現時点で顕在化している技術制約としては、キーワード検索窓が常に表示されてしまうこと（カテゴリ検索を選択した場合キーワード検索窓を非表示にすることは出来ない）、また、キーワード入力後の画面遷移は任意に設定できないことがあります（特定の画面に遷移させるか、どこにも遷移させないか、どちらかにする必要がある）。

(3-3) 棒グラフの年を四半期や月に切り替える機能の説明追加

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ、R3 グラレスタ

棒グラフデータの初期表示単位は年になっていますが、近くに表示される小さなボタンの操作で四半期や月に切り替えることができます。しかしながらこの機能の存在が分かりにくく、利用者アンケートでも「階層を下げて見たい」などのものがあり、利用者が気付いていない可能性があります。そのため、グラフ付近に説明文を追加して四半期や月単位のグラフに切り替えられる旨を案内したいと考えます。図 3 は四半期別に表示させた場合のイ

メージとなります。

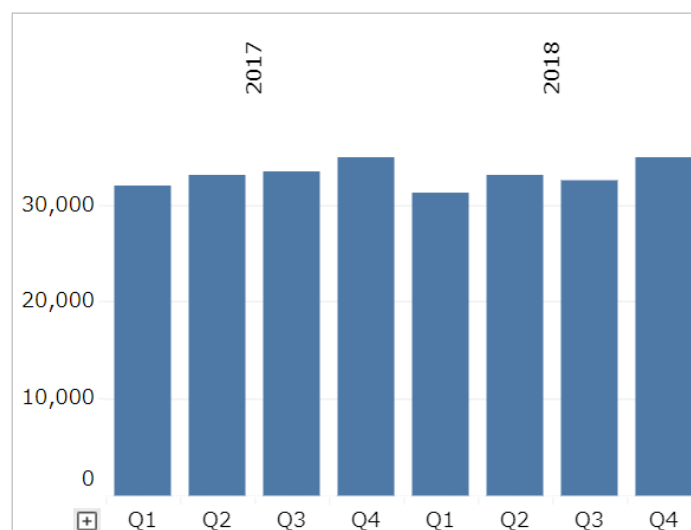


図 3 四半期別の表示例

(3-4) グラフの単位の表示位置を変更

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ

現状のグラフの単位の表示位置を R3 グラレスタと同じく各グラフの右上に表示されるように変更します。これにより単位の理解が促されます。図 4 は R3 グラレスタの棒グラフの右側のイメージです。このように 2 か所に単位を追加します。

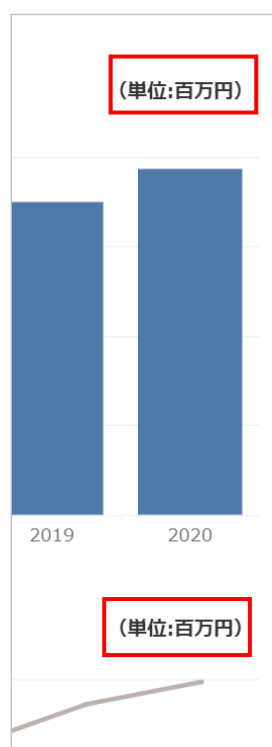


図 4 単位の位置変更後のイメージ

(3-5)R2 グラレスタと R3 グラレスタを統合する

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ、R3 グラレスタ

現在、R2 グラレスタと R3 グラレスタは、データのキーとなるカテゴリ数が異なるなどにより別々のダッシュボードと Web ページで実装されています。これを 1つのダッシュボードにまとめて Web ページを統一したいと考えます。利用者の選択ステップ（R2 グラレスタか R3 グラレスタかを選択する）を 1つ削減することで UI の改善が期待できます。

改善イメージは、R3 グラレスタの最初のピクトグラム選択画面で R2 グラレスタも選択できるピクトグラムを追加します。以降は調査票選択など、これまでの R3 グラレスタの導線に沿って操作できるようにします。これを実現するためには、R2 グラレスタと R3 グラレスタそれぞれに対応した共通のカテゴリなどのデータを持たせる必要があります。

(3-6)都道府県別データを地図表示する

対象ダッシュボード：R3 グラレスタ

R3 グラレスタを構成する 2つの統計のうち、商業動態統計は都道府県別にデータを持っているため、Tableau 標準の地図表現機能を用いて都道府県ごとのデータを地図で視覚的に確認しやすくすることが可能になります。都道府県別データを保有していないデータについては、地図を表示せずに「都道府県別データはありません」などのラベルを表示するようにします。図 5 はグラフ表示の下部に地図表示を追加したイメージです。

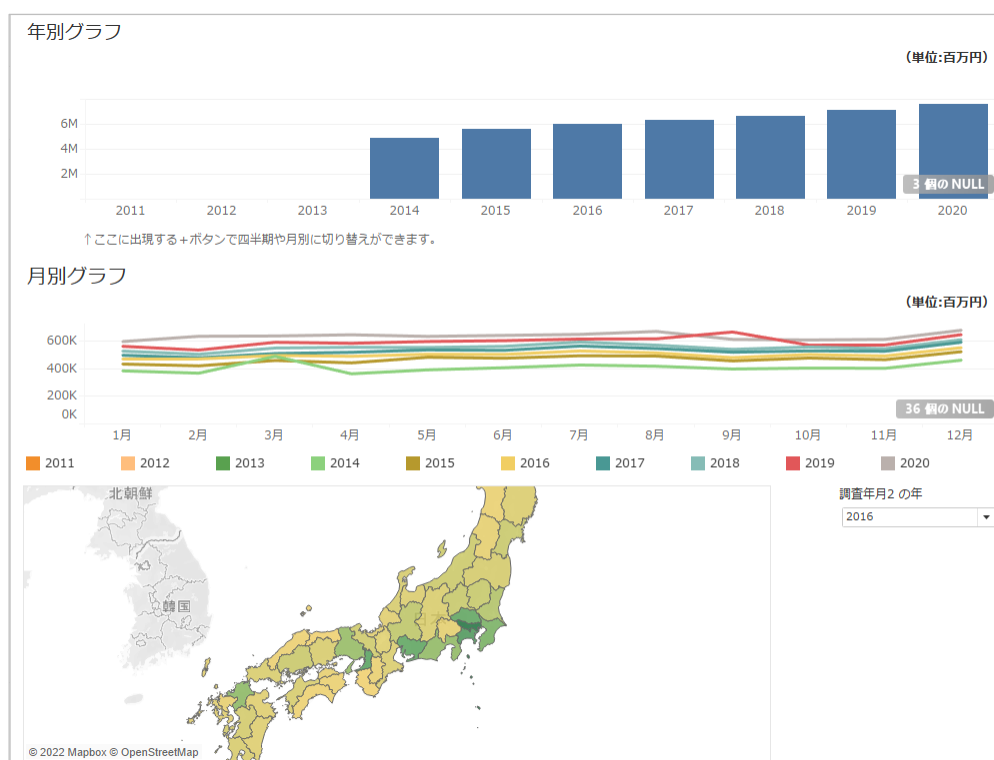


図 5 地図表示イメージ

(3-7)棒グラフで複数の指標を同時に表示するように変更

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ

現在の R2 グラスタでは、生産数量や販売金額などの項目を 1 つ選択してグラフに表示するようにしています。Tableau では棒グラフだけではなく、折れ線グラフなどを重ねることができるため、2 軸のチャートを重ねて表示させることが可能です。これにより異なるチャートの推移を同一チャート上で確認できるようになります。一方、これを実現するためには、各データの単位の統一が必要ですが、Tableau では選択された際に表現上最適な単位(例えば長さの場合、メートルなのかセンチメートルなのか)を自動で制御することはできません。図 6 は生産数量を棒グラフ、生産金額を折れ線グラフで重ねて表示したイメージです。

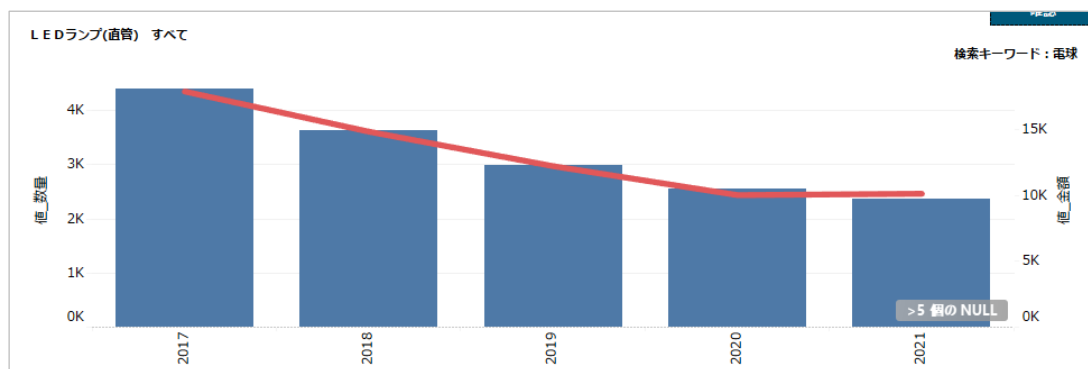


図 6 同時表示イメージ(生産数量と生産金額)

(3-8)スマートフォンでの視認性を維持する

対象ダッシュボード：R2 グラスタ

今回の改善でフィルターやグラフを増やした際にスマートフォン用画面のレイアウトが崩れないように、これまでのレイアウトを可能な限り維持します。

(3-9)パンくずリスト、お知らせの表示を変更

対象ダッシュボード：R2 グラスタ、R3 グラスタ

Web ページにおいて、グラスタ TOP から、R2 グラスタのページなどに遷移した際にパンくずリストからグラスタ TOP へ戻れない状態のため、グラスタ TOP へ移動できるように修正を行います。また、お知らせコンテンツがページ上部にあり、「はじめてご利用になる方へ」が常に表示されているため、グラフ画面は下の方に表示されてしまい、利用の都度スクロールをしないと利用者が確認できない状態となっています。これらのコンテンツレイアウトを改善して、グラフ画面を可能な限り上の方に表示させます。

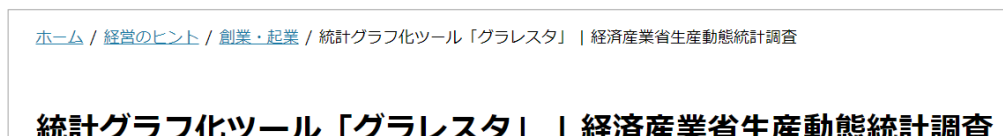


図 7 現行のパンくずリスト

(3-10)ピクトグラム画面と調査票選択画面を追加

対象ダッシュボード：R2 グラスタ

(1-1)と同様の内容です。ピクトグラムによりカテゴリを選択できる画面を増やすことで

導線を分かりやすくし、かつ R3 グラレスタとの統一感を持たせることで操作性を向上させます。一方、これまでと異なり画面遷移が発生し、グラフ表示までに必要な操作の数が増えるといったデメリットもあります。

④ R2 グラレスタの検索用辞書データ作成手順の改善

検索用辞書データの生成における手作業を減らし、品質維持と運用時の生産性を向上させます。

(4-1) 経済産業省の公表済データから辞書データを半自動生成

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ

R2 グラレスタでは、経済産業省生産動態統計調査の時系列データを更新するタイミングに合わせて辞書データの再作成（更新）も行っていますが、辞書データの再作成からダッシュボードへの取り込みまでの運用はすべて手作業で行っています。

現状のように辞書データを再作成する際に発生している手作業を減らすための改善案として、辞書データの構成が「カテゴリ値+品目名+特殊文字+それぞれのふりがな」であることに着目して、既存のデータ加工ツール内で辞書データを半自動生成するように変更します。

生成方法は、経済産業省の公表済データから取得したカテゴリデータと公表済データからは得られない特殊文字データ（特殊文字のメンテナンスは手作業）を品目別に文字結合します。またこの工程を自動的に行わせるためにはデータ加工ツールの改修が必要になります。これにより手作業は作業量の少ない特殊文字データの更新のみとなるため、手作業によるミスが減り運用における品質と生産性が向上します。

⑤ その他

(5-1)統計データの拡充

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ

利用者アンケートでは「製造業以外のデータも見られるようにしてほしい」という声が多数存在していました。新たに追加できるデータがあれば拡充を検討したいと考えます。

(5-2)Tableau エラー時の処理の追加

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ、R3 グラレスタ

Tableau Server のメンテナンスやエラーなどで、グラフが表示できなくなった際に自動的にソーリーページへ遷移できるようにします。ユーザが意図しない表示になることを防ぎます。

(5-3)チャットボット

対象ダッシュボード：R2 グラレスタ、R3 グラレスタ

問い合わせの内容に対してチャットボットによる自動回答を実現し、利用者の利便性と経済産業省担当職員の負担軽減につなげられないかを検討したいと考えます。

5. 具体案の採否

各具体案について、重要度、緊急度、開発規模やスケジュールなど多面的に検討して採否を決定しました。また、その理由についても整理しました。

上記 18 件の具体案について、採否の結果は以下の通りです。

◆ 採用(R4 年度実施)	7 件
◆ 採用(R5 年度以降に見送り)	4 件
◆ 不採用(対応済)	1 件
◆ 不採用	6 件
◆ 合計	18 件

① 採用(R4 年度実施)になった具体案

(2-1)データ転記ツールの

(対象ダッシュボード：R3 グラレスタ)

手作業を減らすことで品質維持と運用の効率化につながるため採用とします。

(2-2)データ転記ツール出力データチェックツール

(対象ダッシュボード：R3 グラレスタ)

(2-1)で開発するデータ転記ツールで生成したデータの正確性を確保するため採用とします。

(3-3)棒グラフの年を四半期や月に切り替える機能の説明追加

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ、R3 グラレスタ)

Tableau 内の、切り替えボタンの近くにラベルを配置します。

(3-4)グラフの単位の表示位置を変更

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ)

R3 グラレスタと同様の位置に単位を設置します。

(3-8)スマートフォンでの視認性を維持する

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ)

可能な限りフィルターの位置や画面サイズなどを変更しないように、フィルターやラベルを追加します。

(3-9)パンくずリスト、お知らせの表示を変更

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ、R3 グラレスタ)

経済産業省のコンテンツ管理の仕組みで実現可能であることから採用とします。

(4-1) 経済産業省の公表済データから辞書データを半自動生成

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ)

既存のデータ加工ツールへ機能追加して、検索用辞書データを半自動で生成できるよう

にします。

② 採用(R5年度以降に見送り)になった具体案

(1-1)ピクトグラム選択画面作成

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ)

導線が変化してしまうと既存のユーザに混乱を招く恐れがあります。また R2 グラレスタでは2つのデータを1画面で比較できる機能があります。画面では左右に2つのグラフが表示されますが、前の画面で業種・調査票を選択してしまうと、それを跨いだ品目の比較ができません。以上のことから、改修の必要性と導線変化による混乱発生の懸念から、今回は見送りとします。

(1-2)既存画面にフィルターを追加

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ)

(1-1)で新たにカテゴリ用の画面の作成に課題が生じたため、画面の作成はせずに既存のグラフ画面にカテゴリのフィルターを追加する方法を検討しました。導線の維持などを考慮していましたが、フィルターの仕様が本事業の検討期間では詰め切れなかったため、見送りとします。

(3-5)R2 グラレスタと R3 グラレスタを統合する

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ、R3 グラレスタ)

コスト面と改善作業期間を考慮した結果、今後、新たな統計データを追加する際にまとめて統合することとし、今回は見送りとします。

(5-1)統計データの拡充

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ、R3 グラレスタ)

商業とサービス業については R3 グラレスタで追加済です。今年度の改善項目としては不採用ですが、将来的な拡充については経済産業省で検討が行われるものとして見送りとします。

③ 不採用(対応済)になった具体案

(5-2)Tableau エラー時の処理の追加

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ、R3 グラレスタ)

グラレスタの基盤である中小企業庁データ分析基盤が改善されたため、グラレスタの改善としては不採用とします。

④ 不採用になった具体案

(3-1)デフォルトのグラフ表示を行う

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ)

既存の利用者にとっての違和感を防ぐことを優先し、変更しないようにします。

(3-2)キーワード検索を Web 側に移動

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ)

既存の利用者にとっての違和感を防ぐことを優先し、変更しないようにします。

(3-6)都道府県別データを地図表示する

(対象ダッシュボード：R3 グラレスタ)

都道府県別のデータがある統計データはグラレスタ全体に対して割合が小さく、大半の統計データで地図が表示されないことになります。都道府県を跨いでデータを比較することに需要が少ないことが考えられる点から地図表示は不採用とします。

(3-7)棒グラフで複数の指標を同時に表示するように変更

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ)

複数グラフを同一チャートに表示するためにはデータの単位やチャートの種類を統一する必要がありますが、現時点では単位を統一することが不可能であることから不採用とします。

(3-10)ピクトグラム画面と調査票選択画面を追加

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ)

(1-1)の経緯のとおり、画面の作成は行いません。

(5-3)チャットボット

(対象ダッシュボード：R2 グラレスタ、R3 グラレスタ)

問い合わせ実績(年間 10 件程度)から実装コストに見合わないと判断し不採用とします。